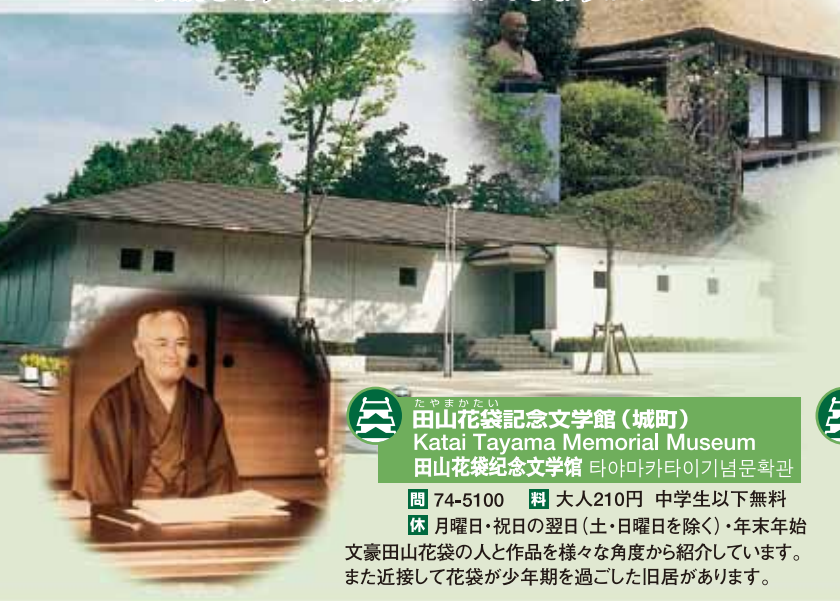


徳川五代将軍綱吉の居城であった城下町館林
時を織り込んだまちは歴史のたずまい
ロマンと伝説をたずねて散歩はいかがでしょうか？



田山花袋記念文学館 (城町)
Katai Tayama Memorial Museum
田山花袋記念文学館 타야마카타이기념문학관
問 74-5100 料 大人210円 中学生以下無料
休 月曜日・祝日の翌日(土・日曜日を除く)・年末年始
文豪田山花袋の人と作品を様々な角度から紹介しています。
また近接して花袋が少年期を過ごした旧居があります。



茂林寺 (堀町)
Moringi Temple 茂林寺 모린지
問 72-1514 料 大人300円 小中学生150円(宝物拝観料)
童話「分福茶釜」で有名なお寺です。
The temple is famous for its fairy tale, "Bunbuku Chagama"
因童话故事「分福茶釜」而出名的寺庙。
분부쿠차가마로 유명한 절입니다.

たきは福神のたぬは

ぶんぶくちやがま絵本案内板 ①

お願ひは、お寺の御堂
「分福茶釜」の
このお話には、お寺の御堂
「分福茶釜」の
お願ひは、お寺の御堂
お願ひは、お寺の御堂

東武伊勢崎線茂林寺前駅～茂林寺までの道路
沿いに13枚の絵本案内板が設置されています。

きつねは守り神

キツネの恩返しで築かれた館林城

ある年の正月、大袋(羽附)の城主赤井照光は、甥にあたる舞木(邑楽郡千代田町)の領主俵五郎秀賢のところへ年始に行く途中、近藤林まで来ると、大勢の子供たちが一匹の子キツネを捕らえ、打ったり蹴ったりしていました。これを見た照光は、かわいそうに思い、子キツネを助けました。子キツネは、子供たちに痛めつけられた足を引きずりながらも、助けてくれた照光主従の方を振り返り、林の奥へ消えて行きました。

その日の夕方です。帰途を急ぐ照光主従が、ふたたび近藤林まで来ると、前方に立派な身なりをした老人が現れ、深々と頭を下げ「私は大袋山に住む稲荷新左衛門と申す者で、今朝あなた様に助けられた子キツネは私の仔(せがれ)でございます」と語った後「あなた様の住んでおられるところは、大変不吉な城であります。そこで守るに努め、攻めるに難い別の地に城を構えて移られるがよい。今朝ほどの礼に、これからご案内いたします」と言って、たちまち白キツネと化して、松明で道を照らしながら照光を先導しました。キツネは事細かに案内しながら、城郭を大きな尾でひき「このようにお城をお造りになりましたら、我が主人も末永くお城を守護することでしょう」と言って、姿を消しました。

キツネの教えによって構築した城が館林城で、尾曳城と呼ばれるようになりました。

本丸の鬼門の方角に尾曳稲荷を、また尾をひき始めたところに初曳稲荷、ひき終わって夜明けとともにその姿が消えたところに夜明稲荷をそれぞれまつり、城の安泰と繁栄を祈ったということです。

茂林寺フリーマーケット
問 72-4111 (館林市観光協会)
毎月第3土曜日(4月を除く)、茂林寺参道で開催されます。



尾曳稲荷神社 (尾曳町)
Obiki Inari Shrine
尾曳稲荷神社 오비키이나리진자
問 72-1293

天文元年(1532)赤井照光が、築城の際、城郭の東北隅にあたる鬼門に守護神として創建されたために、本丸と相対し、神社建築としては珍しい西向きに社殿となりました。天正18年(1590)榊原康政により再建されました。境内には、田山花袋の歌碑などがあります。毎月第3・5土曜日は尾曳稲荷骨董市が開催されます。

